

気象データ分析チャレンジ！

オリエンテーション

Copyright 2021 気象ビジネス推進コンソーシアム、岐阜大学 吉野純

(C) 2021 WXBC、岐阜大学 吉野純

<利用条件>

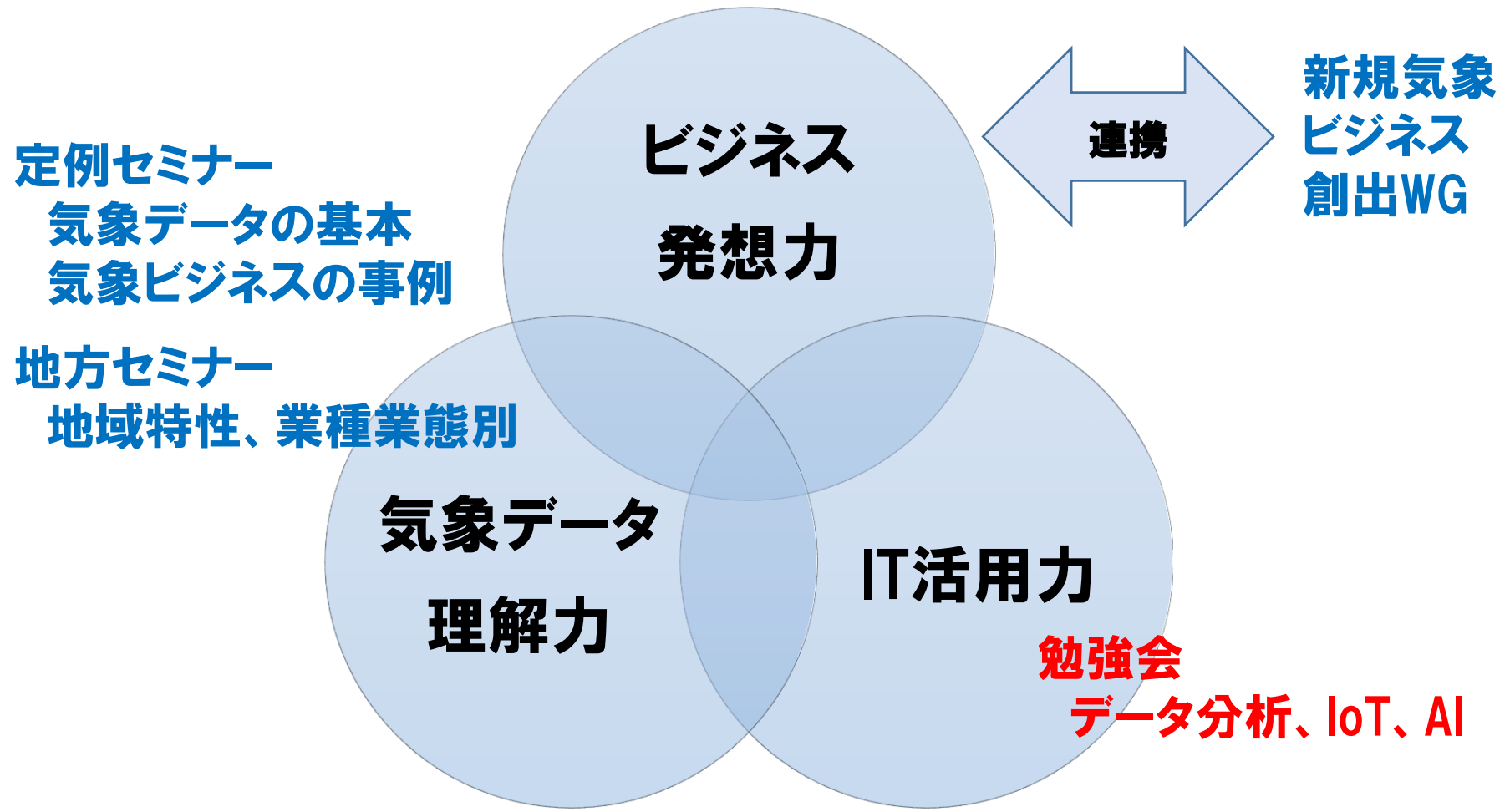
本書は、本書に記載した要件・技術・方式に関する内容が変更されないこと、および出典を明示いただくことを前提に、無償でその全部または一部を複製、翻案、翻訳、転記、引用、公衆送信等して利用できます。なお、全体を複製、翻案、翻訳された場合は、本書にある著作権表示および利用条件を明示してください。

<免責事項>

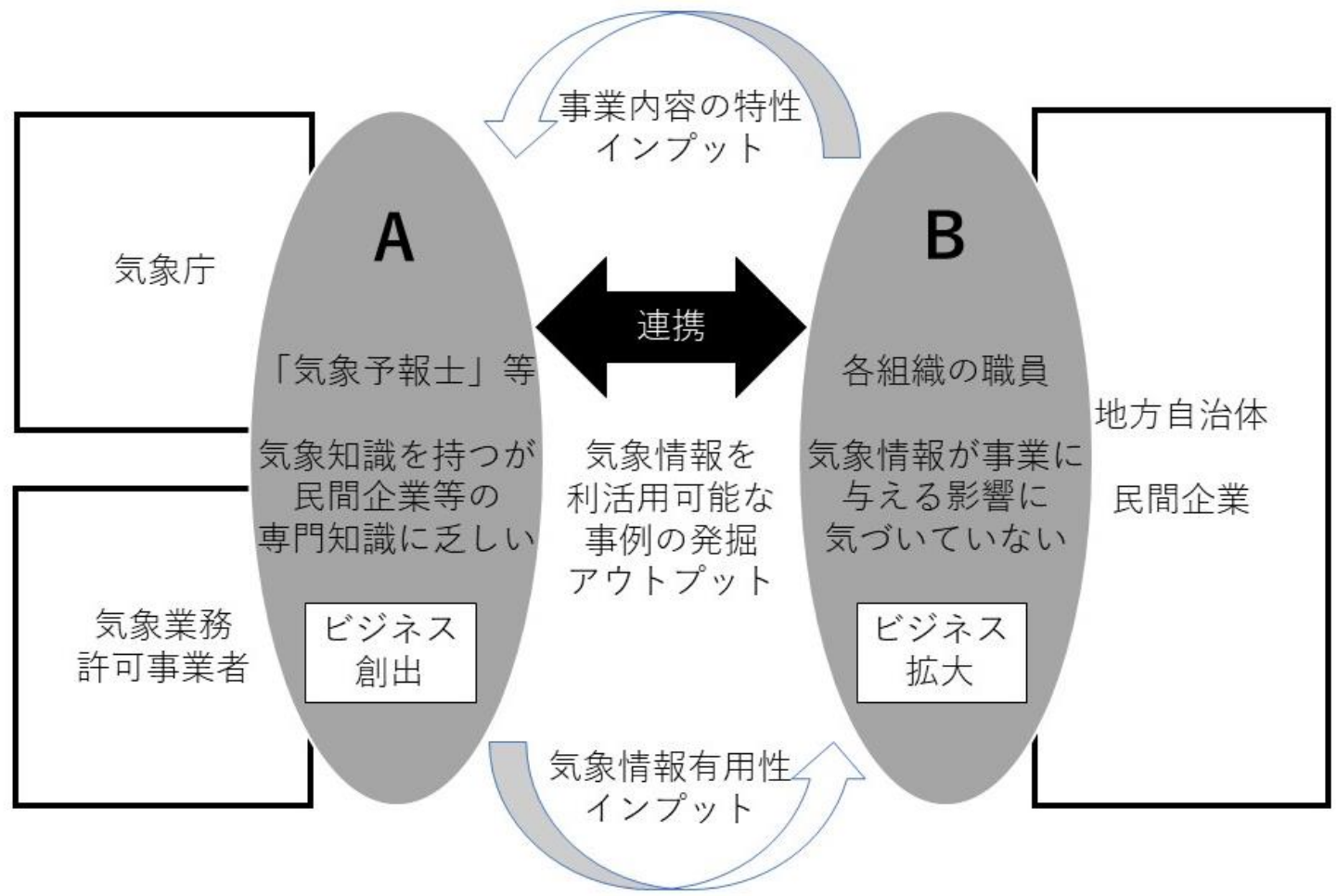
本書の著作権者は、本書の記載内容に関して、その正確性、商品性、利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、特許権、著作権、その他の権利を侵害していないことを保証するものでもありません。本書の利用により生じた損害について、本書の著作権者は、法律上のいかなる責任も負いません。



人材育成WG:活動とスキルセットの目標



人材育成WG:人材育成像



これら二つの人材(A)および(B)の相互交流・連携によって、気象情報の利活用が可能なビジネスの発掘を行うことができると考えられる。

気象データ分析チャレンジ！

■ 対象者

気象データを用いた分析を行ったことはないが、これから気象データを活用して企画・提案を行いたいWXBC会員

■ 日程

平成30年5月11日 (金) 9時30分～17時30分

■ 場所

東京管区気象台 第一会議室

■ ゴール

気象データの基本に慣れ、他データを掛け合わせた分析を行い、可視化できるようになる。データ分析に必要な基礎知識・作業を理解し、今後のステップアップに自ら取り組めるようになる。

過去の気象データを使うのは何故？

- ビジネスで活用したい気象データは、**過去**に観測された気象データではなく、**未来**の予測された気象データかもしれません。
- しかし、予測データを適切に活用するためには、過去データから学ばなくてはなりません。そのため、この“気象データ分析チャレンジ！”では、予測された気象データではなく過去の気象データのみを扱います。

過去の状態をひもとき **未来**の状態を知る



将来を見据え 予めできる対策を考える

気象データ分析チャレンジ！

■ ポイント

1. 過去の気象データに慣れ、オープンデータにも触ってみる
2. 気象データをどう使うかの仮説設定から、データ分析、可視化までを体験する
3. 職場に帰って、実際の業務で気象を活用してもらえるようにする

気象データを掛け合わせるデータ：

東京電力でんき予報

気象データ分析チャレンジ！

■ 勉強会の流れ

- 1.オリエンテーション
- 2.気象データの紹介
- 3.掛け合わせデータの紹介
- 4.データ分析の基礎と個人ワーク
-----休憩-----
- 5.回帰分析の基礎
- 6.他の電力データご紹介
- 7.データ分析のグループワーク
- 8.感想発表
- 9.まとめ

～なぜ気象データ分析？～

～気象庁HPからデータ入手しよう～

～東京電力HPからデータ入手しよう～

～データ分析の基礎を知ろう～

～データ分析により予測モデルを作ろう～

～他にもオープンデータがあります～

～グループでデータ分析に挑戦してみよう～

～みんなで気づきを共有しよう～

～1日の勉強会を通して～

気象データ分析チャレンジ！

■ 皆様にお願い

1. この「気象データ分析チャレンジ！」は、気象データやデータ分析の基礎・演習を通して、気象データを利用する面白さを感じてもらう機会だと考えています。単なるExcel教室にならないよう配慮しますが、**参加者全員の理解を目標**に進めていきます。
2. 講義形式による学習ではなく、互いに気づきを共有しながら**能動的な学習を行います**。参加者の皆さんの積極的な関与を期待いたします。
3. 午後からは参加者同士でチームを組んでグループワークを実施します。仮説の通りにうまくいかないこともあるはずですが、仮説の通りに行かないことも貴重な情報です。みんなで共有していきましょう。
4. 気象データ分析チャレンジ！ 後には**懇親会**を実施します。奮ってご参加ください。